



六甲山魅力再発見市民セミナー

市民セミナーVol.6
六甲山北山麓の歴史/
豊田 實
2003年9月発行



唐櫃道にて

第6回テーマ： 六甲山北山麓の歴史 ～歴史探遊と講演～

★セミナー1：歴史探遊
(10:00～13:40)

神戸電鉄六甲駅発→山王神社→
四鬼家→唐櫃道→シュラインロード
(野仏三十三体)→行者堂(昼食)
→前ヶ辻→自然保護センター

★セミナー2：講演
六甲山自然保護センターにて
(14:00～15:30)

実施日：平成15年9月20日(土)



講師：豊田 實さん

プロフィール

大正15年神戸市生まれ
神戸歴史クラブ理事長
昭和59年神戸市立福住小学校校長、昭和62年神戸市立総合教育センター主任指導員、平成5～9年日本教育新聞社関西支社兵庫支局長

セミナー1：歴史探遊

(雨の中の六甲越え・唐櫃古道、修験道者の気分でコースを楽しむ)

雨にも関わらず元気にスタート

今回は神戸電鉄六甲駅に集合。スタッフは事前に下見をして準備万端で本番を迎えました。当日は小雨が降り不安定なお天気でしたが、元気な顔が続々と集まりました。「唐櫃古道、シュラインロードを歩きながら、影に隠れた昔の生活の歴史を感じて欲しいと思います。」と豊田先生の言葉を念頭に出発しました。

心に残る四鬼家でのお話

四鬼(しき)家に到着。庭の中へ入ると、四鬼さんご夫婦が暖かく迎えてくれました。当主の四鬼啓二さんのお歳は90歳。四鬼さんの子供の頃のお話を伺い、六甲山の池の氷を挽く時に使用したのこぎりも拝見。お話の後「道中氣をつけて」とお茶を一本ずついただき、全員感激しました。
(※詳しくは2ページ参照)



四鬼ご夫妻

シュラインロードで野仏を拝む

石仏は全部で三十三体ありシュラインロードの左右に点々と祀られています。この道で野盗等に襲われた人の供養や、道中無事、商売繁盛を願って建立されたとのこと。そのうちの九体は裏六甲ドライブウェイの道路工事のために国土交通省により一箇所にまとめられました。六甲山を歩いたイギリス人がこれらを見て感激し、この道を聖なる道“シュラインロード”と名付けたとのことです。皆で番号を確認しながら上っていきました。

行者堂で一息入れる

雨に濡れながらやっとの思いで行者堂に到着し昼食をとりました。昼食後も豊田先生の軽妙な話を聞き入り、充実した歴史探遊をしました。皆様お疲れ様でした。



やっとな息、ランチタイム

セミナー2：講演

(六甲山自然保護センターで14:00から開講)

雨の中の歴史探遊を無事終えて、温かいお茶で一息ついた後、講演は始まりました。講演から4名が新たに参加しました。今回は大半が朝からの参加者だったので、話が重複しないように六甲山北山麓に限定せず進めていきました。脱線めいた話もあり、盛り上がりました。豊田先生は「古老、四鬼さんから聞いた話が皆さんの心に一番残ったと思います。直接話を聞くことが一番の収穫です。歴史の本では数行でしか書いていない。今日

はずばらしい物が手に入ったと思います」と冒頭で述べ、歴史探訪の成果を共感しました。講演内容：お地蔵さんのよだれかけの話、灘の酒樽の話 六甲の財産区の話他



セミナーの様子

主催：六甲山自然保護センターを活用する会
後援：兵庫県神戸県民局
兵庫県立人と自然の博物館